

スポーツで交流しよう！

11/16

クリケット大会が開催されました



クリケットの試合を楽しむ参加者

町生涯スポーツ推進協働パートナー連携事業として「NPO法人かね来風」主催のクリケット大会が開催されました。講師は、町内にサテライトオフィスを置くインドのIT企業「ゾーホージャパン」のインド人社員2人。ルールや得点の取得方法などについて、参加した地域住民と会話をしながら交流を深めました。

今回初めて参加した参加者は、初めのうちは慣れないクリケット専用のバットやボールの扱いに苦戦していましたが、後半になり徐々に慣れてくると、ホームランを打つ様子が見られたりと試合を楽しんでいました。

日本の郷土料理を地域の外国人住民へ

12/14

日本料理教室が開催されました

静岡県主催の「外国人材のための第二の故郷創出支援事業」の一環として、外国人住民のための日本料理教室が生活改善センターで開催されました。

現在町には15の国107人の外国人住民が暮らしています。今回参加したのは、インド・中国・アメリカ・イタリアから8人。町内の料理好き日本人3人が講師を務め、「大根そば」や「いなり寿司」、「錦卵」など、郷土料理の作り方を教えてもらいました。また、餅つき体験も実施され、参加者同士で楽しく会話をしながら作った料理を美味しくいただきました。



講師の説明を聞きながら錦卵を作る参加者

ホールに響く美しい音色

12/15

金管楽器によるコンサートが開催されました



公演の様子(上)と楽器レクチャー(下)

文化会館で、東京都交響楽団のメンバーによる、木管五重奏「あっと！ホームコンサート」が開催されました。当日使用された楽器は、フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・ホルン。演目は「エンターティナー」や「ディズニールランドメドレー」など、クラシックの名曲から親しみのある曲まで圧巻の演奏が披露され、会場に訪れた127人を魅了しました。

また、12月14日(土)には、三ツ星学園音楽部と川根高校吹奏楽部の児童生徒13人を対象に公演リハーサルとレクチャーが行われ、またとない機会に生徒たちは真剣に取り組んでいました。

交流を通して地域を知る

12/26

児童民生委員と地域の子どものための交流会が開催されました（赤い羽根共同募金助成事業）

川根本町民生委員児童委員協議会児童福祉部会が、地名地域振興センターで町内義務教育学校の児童生徒との交流会「冬休み交流会～寺子屋～」を開催しました。子どもたちとコミュニケーションを取りながら、地域で活動する民生委員の仕事を知ってもらうことを目的に毎年開催されています。この日、三ツ星学園から18人が参加し、冬休みの宿題を主とした学習会や、昼食づくり、体を動かしながら簡単なレクリエーションを行い盛り上がりしました。分からない問題は、民生委員に聞いたり、周りの友達と協力して問題解決を図るなど、積極的に勉強に取り組む子どもたちの姿がありました。



勉強会(上)昼食の準備(左下)読み聞かせ(右下)

エコティ日記

町の自然資源を活かした地域観光事業に取り組む一般社団法人エコティかわね。今回は12月に行った「第1回ヤマセミ会議」の報告をさせていただきます。

次につながる第一歩！



ワークショップの様子



「大地の再生」講演の様子

Eco-T
KAWANE

(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎0547 (58) 7000
FAX0547 (58) 7001
Eメール: ecotkawane@gmail.com

12月8日（日）、南アルプスユネスコエコパーク10周年事業として、「第1回ヤマセミ会議」を開催し、延べ66名の方にご参加をいただきました。内容は、①6月に行ったヤマセミ生息状況一斉調査の報告②参加者による意見交換とワークショップ③「大地の再生」をテーマとした田中俊光さんの講演です。

①では調査項目を振り返り、大井川の環境を可視化しました。調査で発見したヤマセミは、7月上旬を境に姿を見なくなってしまい、子育てが失敗したであろうということについても言及しました。

②では調査報告を踏まえた話し合いを行いました。「人とヤマセミの共生」というテーマでは、ヤマセミに住民票を発行したらどうか、ヤマセミについてもっと知ろう、といった活発な意見が出ました。

③では「空気と水の循環」をキーワードに、災害の例を出して分かりやすくお話いただきました。参加者からは『たくさんの方に聞いてほしい』『人の意識が変わることが大切』と言った感想をもらいました。

ヤマセミをテーマとし、大井川の河川環境に目を向けてもらいたいという想いで1年活動してきましたが、取組は始まったばかり。ただ、小さく思えるような一人一人の意識は、集まると変化を起こせる手応えを感じました。今後に繋げていきたいと思えます。6月に行ったヤマセミ調査の結果報告については、エコティかわねのホームページから閲覧できます。ぜひご覧ください。